

よりぬき

#今日のハルスイさん

絵 作

銅折葉
サバ缶

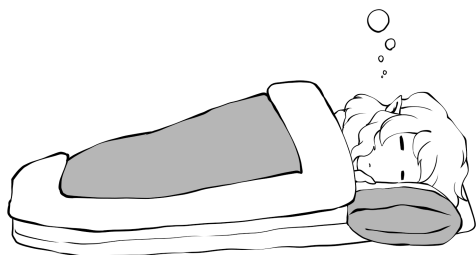


よりぬき

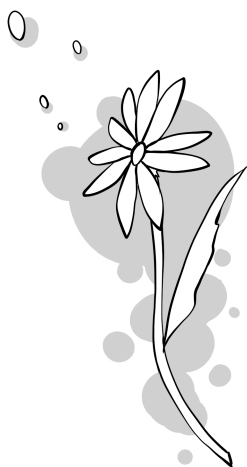
#今日のハルニヤさん

何事もなく一日が終わり、お布団に入っ
てさあ寝ようとして、よく考えたら今日
なんにも妬んでなかったことに気付いた
ので、「天井めえ……」っておざなりに妬
んでからすやすや眠る。

#今日のパルスィさん



地底の旧地獄街道に住んでいる少年が、朝早くから地上に繋がる風穴の方に出かけ、夕刻になってすり傷と泥だらけになりながら、綺麗な花を一輪摘んで帰ってきた。彼が橋を渡るのを見送り、その背中が見えなくなってから小さく「妬ましいわ」とだけつぶやく。



#今日のパルスィさん

退屈だったので散歩がてら旧地獄街道の繁華街に。お酒とおつまみを買いながらすれ違う通行人達に「50点」「65点」「85点」「40点」と片っ端から妬ましい度数を付けてまわる。

大体大通りを三週くらいしたところで満足。さわやかな笑顔で帰っていく。なお最高点は95点。

#今日のパルスィさん

普段からのべつ幕なしに妬んでるわけではないのだが、一日一妬みくらいしておかないと何となく居心地が悪い。試しに3日くらい妬まないでいたら寝覚めがすっごく悪かったので、適度な嫉妬は健康に必要なのだと確信。今日も目玉焼きが綺麗に焼けたことを妬む。

#今日のパルスィさん

お気に入りの恋愛小説の新作が発売されたのでまっすぐに買ってスキップで帰る。

幼馴染の二人が運命に翻弄されながらもついには想いを遂げ結ばれる幸せになるストーリー。夢中で読み耽り、気付いたら夜も空けていた。読み終えた本の表紙を撫で、恍惚の表情で「妬ましいわあ……」と溜息。

#今日のパルスィさん

休憩の最中、湯呑みの中に茶柱を発見。誰かが見てるわけでもないが、何やら無言の圧力を感じ取り、あたりをきよろきよろ窺ってから「ね、妬ましいわね」と独り言。

言ってはみたものの、口に出した直後から急速に気恥かしくなり、ついお茶を一気飲みして舌を火傷する。

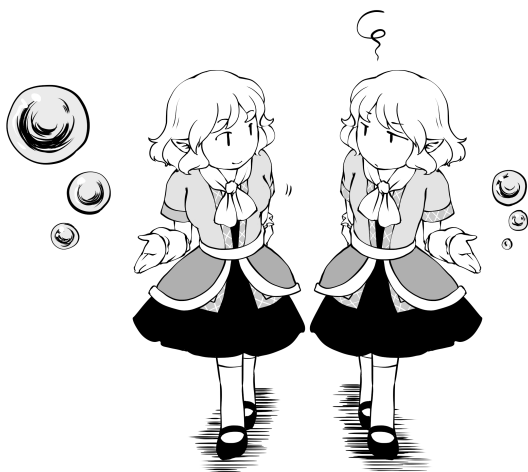
#今日のパルスィさん



毎週末恒例の丑の刻参りに出かけたところ、やたらと調子が良く、そのまま深夜のテンションも手伝って過去最高記録更新。

徹夜で寝不足の真っ赤な目を擦りながら一日を過ごす。

#今日のパルスィさん



舌切雀「大きな葛籠と小さな葛籠」で呼び出した分身は、撃つ弾幕だけじゃなく胸までちよっと大きかったりする。

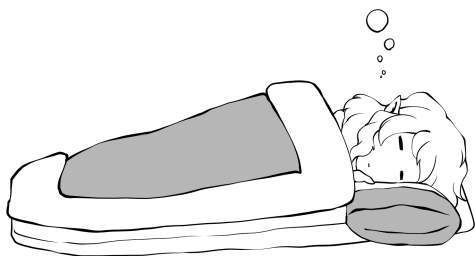
自分で設計したスペルなのだが、改めて見るたびにいまいち釈然としない。

#今日のパルスィさん

楽しげに独り言をつぶやく無意識の妖怪が橋を通りかかる。動かないスマホ越しに、姉に向けて何かを話しかけている間だけ、彼女の姿が見えていた。仲が良くて妬ましいわねと心の中で呟いて、そっと目を閉じる。

#今日のパルスィさん





近頃は地底にも夜明けが来るようになってきた。毎朝決まった時間に旧灼熱地獄に輝く三本脚の鴉の明るさに、いまだに慣れないままお布団の中に潜り込んで二度寝する。

ちなみに、日曜日は地底の太陽もお休みらしい。

#今日のパルスィさん

あまりに周りから「妖怪妬ましい」と持ちネタ呼ばわりされるのにうんざりしたので、宴会の場では極力言わないようにしていたところ、開始2時間くらいで参加者全員から本気で体調を心配され、二次会の参加を断って帰宅し不貞寝する。

#今日のパルスィさん

宴会で歌う曲は皆の想像に反してわりとポップでキュー
トな曲調が多いのだが、ノリノリで歌ってる最中にちよく
ちよく「妬ましいわ…」とか「恨んでやる…」みたいなノ
イズが入る。なお本人は気付いていない。

#今日のパルスィさん

洗い物をしようと思い、水を汲みに井戸まで出かけたら釣瓶に入り込んでいたキスメと目が合う。最近ちよつと食べすぎたのでいつもの桶がキツいらしい。

繁盛していて妬ましいわと言ってみたところ、すまなそうに食べ残しの人骨を渡されたので、桶ごと風穴まで運んでヤマメに放り投じた。

#今日のパルスィさん

五年に一度の橋姫免許更新。

講習を受けるため、怠け者の死神船頭の船で是非曲直庁ま
で出かける。

もちろん成績優良のグリーンアイズ免許だ。

#今日のパルスイさん

鳴かぬなら
ああ妬ましや
ホトトギス

パルスィ心の俳句

#今日のパルスィさん

冥界の庭師がやってきて、枯れ木に花を咲かせる灰はないかと訊ねられる。

まぶしい笑顔でどうしても主のために必要なのだと力説されたので、妬ましくなって咲かないほうの灰を渡しておいたところ、後日スキマ妖怪から丁寧なお礼状とやたら高そうなお菓子が贈られてきた。

#今日のパルスィさん





改訂版の幻想郷縁起に余計なこ
とを書かれたせい、か、妬んだ相手
がしこたま酒を飲んで愚痴って
くるようになり、さすがに辟易し
て抗議の手紙を出す。

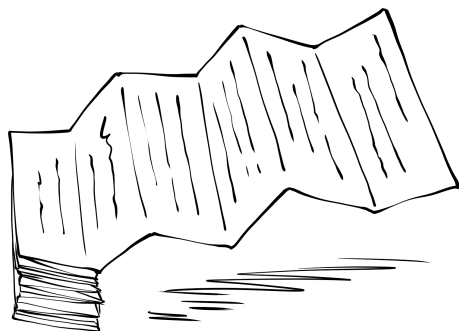
#今日のパルスィさん

前略 謹んでお妬み申し上げます。

時下ますますご健勝のほど、まことに妬ましく喜び申し上げます。

ながらく妬ませていただくことなく御無沙汰致しました。その後お変わりありませんでしょうか。どちらであつても妬ましい限りです。さて…

#その手紙 #今日のパルスィさん



プロフェッショナル・仕事の流儀

「橋姫・水橋パルスィ密着24時」

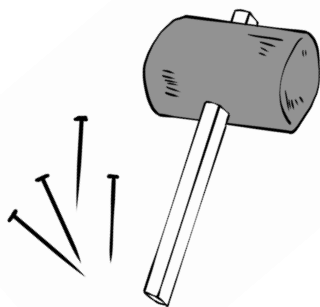
本日も紹介するのは橋姫として名高い水橋パルスィ氏。一口に丑の刻参りと言っても、作法、精度、籠る怨念はピシキリである。ベテラン中のベテランにして嫉妬のプロである彼女にかかれば、丑の刻参りはだいたい日付が変わる前、調子がいいと十時半くらいには終わるといふ――

#今日のパルスィさん

人手が足りないから手伝ってくれと有無を言わずに勇儀に連れて行かれた旧都の建築現場において、五寸釘片手に冴え渡る金槌さばき。

すっかり惚れ込んだ鬼の大工棟梁から本格的に現場を任せたいとオフアーを受けて困惑する。

#今日のパルスィさん



橋のたもとに緑眼の猫が捨てられていた。愛くるしい仕草と鳴き声に葛藤の末、妬みながらも恨負けして家まで連れ帰る。色々面倒を見ているうちに情も湧き、可愛い猫を愛玩してはついあれこれと話しかける日常に。

後日、ヤマメ達と話している時にふと語尾に「にゃ」がついてしまい、爆笑する皆にパルスィ怒りのジェラシーボンバー。

#今日のパルスィさん

地底でもお洒落な妖怪さんだと有名なのだが、職業柄どうしても爪を噛む事が多くて迂闊にマニキュアができないのが悩み。

#今日のパルスィさん

「この冬一番のおススメ！ 出会いのスポットは午前三時の丑の刻参り！ 憎いあいつに嫉妬一杯な同好の士を見つけて、新しい恋の始まりもあるかも？ 気になるあの子の恨み相手にも一緒に五寸釘を打ちつけて、ちよっと大胆に愛の共同作業だ！」

：という企画書をワクワク顔で地霊殿に持ち込み、さとり
に心底微妙な顔をされる。

#今日のパルスィさん



地底にも徐々に冬の気配。風穴を下る風にいつもより雪の結晶が多いのを我慢しつつ、ほんの少し赤くなった耳を擦る。マフラーに首を埋めて白い息を吐きながら、今日も橋を通る妖怪たちを妬む。

#今日のパルスィさん

寒さを乗り切るためふくらんだ雀をモチーフにした羽毛のコートが大人気。土蜘蛛工房と並ぶ、地底のファッションリーダーの面目躍如である。

なお地霊殿ブランドのヤタガラスコートは地獄鴉の羽毛の温度が高すぎて低温火傷の被害が続出。リコールの嵐であった。賑やかで妬ましい限り。

#今日のパルスィさん

1. あいつへの妬ましい想いでお湯を沸かします
2. ティーポットを十分な妬みで温めます
3. 人数分のお茶の葉と嫉妬をポットに入れます
4. 沸騰したお湯を注いで嫉妬で蒸らします
5. 軽くひと混ぜし、たっぷり嫉妬を込めます
6. 込めた嫉妬が均一になるように注ぎます

#橋姫流紅茶道 #今日のパルスイさん

明日はお休みなので仕事じゃなくオフで存分に妬んでやるぞーと思
いながら、通りがかりの誰かを嫉妬するお仕事
に向かう。

#今日のパルスィさん



魔界の最新流行を取り入れた魔法の森・マーガトロイド工房の最新モデル藁人形が通販で届く。

滑らかな釘の入り、絶妙の打ち付け心地、指から爪先にまで徹底してこだわったフォルム。どれをとっても本職の橋姫を唸らせる完成度。最近の丑の刻参りにはこれが欠かせない。

#今日のパルスィさん

風穴をふわりふわりと降りてきたお化け傘と遭遇。迷子になった里の子供を探しに来たのだという。お決まりの弾幕戦の後、無事見つかった少年の手を引いて地上に帰る小傘を見送った。

相変わらず誰も驚いてくれないと頬を膨らませる彼女の自覚のなさが妬ましい。

#今日のパルスィさん

夜が冷えるようになってきた。出したばかりの炬燵に入ってみかんと食べつつラジオに耳を傾ける。
次のクリスマスに彼女に告白したいというお便りに、存分に嫉妬してあげるからうまくいくように頑張るなさいとつぶやく中、ゆっくり更けていく師走の夜。

#今日のパルスィさん



地底の入口にある橋のたもとには小さな鳥居と祠がある。誰からも忘れられ、妖怪が手を合わせていくことも滅多にないが、ごくごく稀に地上から光学迷彩を羽織ってやってきた河童が、熱心に誰かとの再会をお願いしているのに、今日も今日とて気付いていないふりを続ける。

#今日のパルスィさん

不注意から風邪をひき、喉と鼻の痛みをうくらえ、最悪の気分
で布団に籠って咳き込んでいたところ、家の前をうろ
ろしている不審者を発見。

自分の能力のせいではないかと悩んでいたらしい土蜘蛛
のおでこを軽く弾き、ねたましいわと風邪声で答えながら
安心して眠りにつく。

#今日のパルスィさん

実のところそんなにお酒に強いわけでもないのに、つい飲みすぎてカウンターで寝入ってしまい、すごく嬉しそうに「妬ましいわあ」ってむにやむにや言いながら今年最高の笑顔で寝言。

周りからは一番面倒くさくなくて可愛い時のパルスィと呼ばれている。

#今日のパルスィさん

このはし

わたるべからず

ふと思いついて、橋の前にそんな看板を立ててみたら本当に誰も渡らなくなりはや三日。はたと我に返ったあと『マジメか！』と全力でツツコんだ。

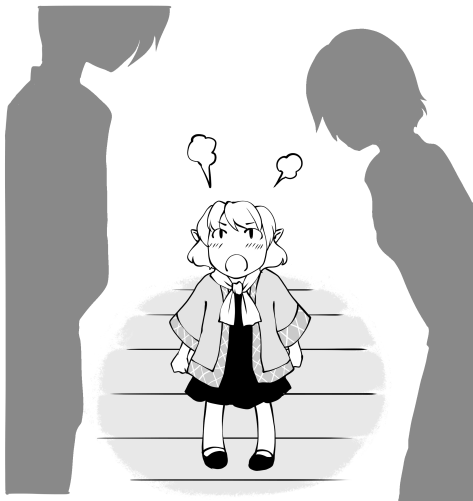
#今日のパルスイさん



地上での大雨が地底まで流れ込んで河が増水。住まいごと橋が流される。すぐに鬼が復旧してくれたが、直後に外見が一気に幼女化。

使った材木が新しかったせいらしいが、舌っ足らずな声で「ねたまちいわよのさ！」とジト目で睨む金髪幼女はしばし地底の話題になった。

#今日のパルスィさん





勇儀に旧都の飲み会に呼ばれたものの、知らない顔が大勢集まるし、橋姫を嫌っている連中も多いため、あまり気分がのらない。悩んだ末に舌切雀のスペルで作った分身を代わりに行かせたら、すごい幸せそうな顔で帰ってきた。

#今日のパルスィさん

以前のクレームがきっかけで幻想郷縁起に増刷がかかり、地底の妖怪たちのイラストが刷新された。

興味半分で読んでみたところ新規イラスト「橋姫七つのヒミツ」に「嫉妬袋は嫉妬をため込む」「緑眼は嫉妬ビームを連射」「嫉妬イヤーは地獄耳」などと好き放題書かれており、八つ墓村スタイルで「この絵を描いたのは誰だア!」と稗田邸に乗り込む。

#今日のパルスィさん



嫉妬に狂った美しい緑色に染まる橋姫の眼球は、至高の美として珍重され、コレクター間で莫大な値がつくことから、妖魔ハンターによって乱獲されてきた時代があった。橋姫の見せる嫉妬が強ければ強いほどその緑の輝きは美しく増し、所有者に例外なく不幸をもたらすとされたが、求めるものは後を絶たなかったという。

#クレームの成果 #今日のパルスィさん

年末年始に向け、嫉妬の販路拡大のためお子様にも安心な
新商品開発に余念がない。今のところの自信作は干瓢で編
んだ食べられる藁人形。

今年一年分の嫉妬を込めて思いっきりかじりつけ！

#今日のパルスィさん



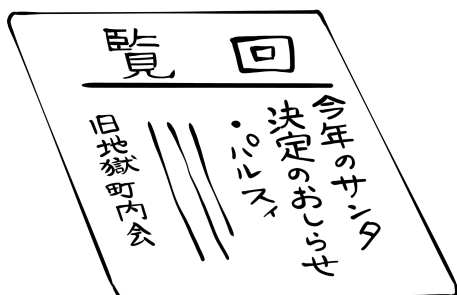
クリスマスシーズンは一番の繁忙期なので、道行くカップルを朝から晩まで忙しく嫉妬しまくる毎日。

それはそれとして帰宅してからは炬燵であっただかいココアなど飲みつつ、サンタさんにはどんなプレゼントお願いしようかなあと指折り数える。

#今日のパルスィさん

回覧板を見直したら、今年の地底サ
ンタクロース当番が自分に決まっ
ていたことに気付き、一日中いじけ
て過ごす。

#今日のパルスイさん



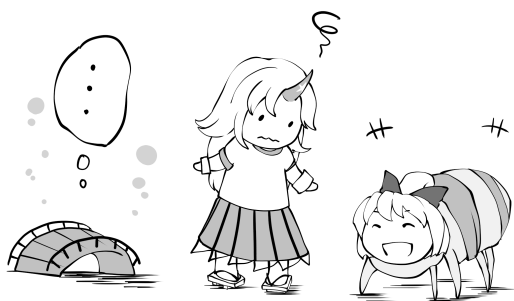
年末に向けての大掃除。

毎日つけている嫉妬日記を読み返し、一年前と七年前と十二年前の、柄にもなく浮かれている自分に嫉妬する。

#今日のパルスィさん

ヤマメがぬいぐるみみたいなかかふかの子蜘蛛、勇儀が絵本にでも出てきそうな二頭身の子鬼に返信するのを見て、わくわくしながらマミゾウの「ニツ岩家の裁き」を食らってみたところ、なぜかミニチュアの橋に変化させられ、渾身の妬符「グリーンアイドモンスター」。

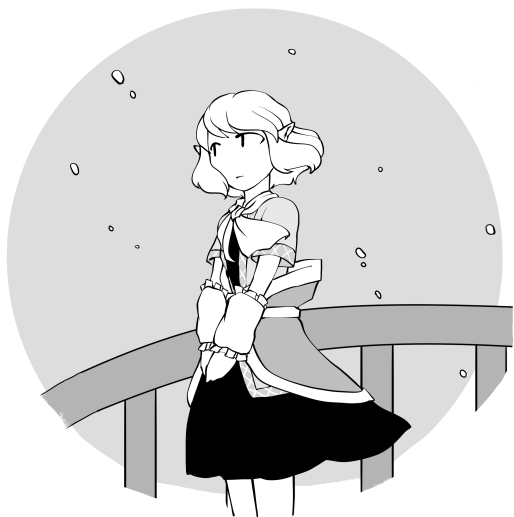
#今日のパルスィさん



かの源頼光四天王の渡辺綱に片腕を斬り落とされたのは宇治の橋姫であるという話が伝わって以来、シニヨンキャップの仙人が頻繁に訪れ、さりげなさを装いながら切り落とされた腕の行方を尋ねたり右腕の様子を観察してくるのが鬱陶しいことこの上ない。

#今日のパルスィさん





旧都の喧騒を遠く眺めながら、なんとなく暇を持て余して、ひとりで橋占を試みる。

「∴パルスィさん、パルスィさん。
橋占やってくださいな」

渡る者の途絶えた橋に響く穏やかな川音の中、返事はまだ来ない。

#@_skk1 #今日のパルスィさん

待望のクリスマスイブ。早朝から夕方までみっちりカップルを嫉妬した後、持ち回りのサンタクロース当番のヤマメと一緒に地底のご家庭を回りプレゼントを届ける。

せっかく自分のプレゼントを楽しみに靴下も用意したのにと頬を膨らませながらも、幸せそうな子供の寝顔にそっと「幸せそうで本当に妬ましいわ」とつぶやく。

#今日のパルスィさん

明け方近くまでかかってようやくプレゼントを配り終え、
疲れて帰宅。ぐら下げたままの靴下の下には見覚えのある
字の手紙とプレゼントが3個。誰も彼もが幸せなこの夜
に、橋姫の上機嫌なハミングが聞こえる。

#今日のパルスイさん

一晩明けてふと冷静になってみると、いつの間にか勝手に家に取り込まれていた事実には気が付き、途端に微妙な気分になる。

#今日のパルスィさん

歳末の恒例行事である、橋姫が選ぶ今年の漢字が本日発表。

選ばれた一文字は「嫉」。

第二位となった昨年の「妬」を抑えて、二年ぶり226回目の選出となった。

#今日のパルスィさん





歳の瀬も迫ってきたので業務用のお餅を大量に購置わ
れているらしいが、橋姫たる
もの、やきもちの百個や二百
個は軽く焼けないといけな
いので遊びではない。

#今日のパルスィさん

歳末の足音。この季節、火鉢の上で膨らむお餅とじっと睨めっこしながら、「とても美味しそうで妬ましいわ。白くて柔らかくて、みんなが好いてくれるものね……。妬ましいわ……。」と丹念に焼いた後、笑顔で美味しそうに焼き餅を頬張る橋姫の姿が見られる。

#なお好物は安倍川餅
#今日のパルスィさん

ヤマメに髪を梳いてもらいながら、パルスイって角あるの？ という話になり、一応、名残だけはあるけど目立たないのよ、みたいな雑談をしていたところ、後日季節遅れの謎の仙人サンタからシニョンキャップが届いた。

#今日のパルスイさん

ぼろぼろの天邪鬼が橋の下に身一つで行き倒れていた。以前の回状の相手だというのを思い出し、大勢から人気で妬ましいわと嫉妬してやると、地底の連中は馬鹿ばかりだと捨て台詞を残して去っていった。

あれだけズタボロに虐げられても闘志を失わない反逆心は心底妬ましい。

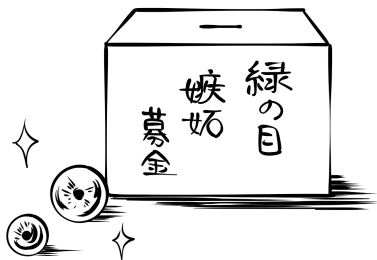
#今日のパルスィさん

「恵まれない地底の橋姫のために、緑の目嫉妬募金にご協力をお願いしまーす」

歳の瀬も押し迫ったこの季節、橋を通りかかると見かける地底の風物詩。嫉妬少ない地の底で貧しい暮らしをする橋姫たちを救済する大事な活動だ。

ちなみに協力するともらえる緑の目玉フィギュアは不気味だとえらく不評である。

#今日のパルスィさん



こうして集められた嫉妬は、種類ごとに仕分けされ、それぞれ缶詰に加工されて出荷される。

鮮度を保った嫉妬の保存は難しく、以前は味が悪くなると不評であったが、パルスィの不断の努力と商品開発によりその品質は大幅に向上した。いまではクリスマスからバレンタインの間を繋ぐ大事な保存食である。

#今日のパルスィさん

今日の午後は喫茶店で橋姫ブランドの新年のニューモデルのデザイン案を練る。

地底の石桜をあしらったハンカチは久々の自信作だが、問題は思いつきり噛みついた時に千切れずにいるかどうかだ。土蜘蛛工房の蜘蛛糸織を使えないかと思案する。

#今日のパルスィさん



年末の仕事納め。クリスマスが終わると大体暇になるので、ここ数日は午前中で早じまい。

適当に切りあげて炬燵に入って蜜柑を食べつつラジオのお笑いを聞く。次の繁忙期は二月のバレンタインだ。

#今日のパルスィさん



博麗神社の忘年会にお呼ばれ
する。某所提供の特上霜降りす
き焼きの肉を巡って、あさまし
くも熾烈な争奪戦を繰り広げ
る嫉妬の坩堝に、お猪口を傾
け、ほんのり頬を赤らめながら
ご満悦。

#今日のパルスィさん

「いいぞー」「もつとやれー♪」

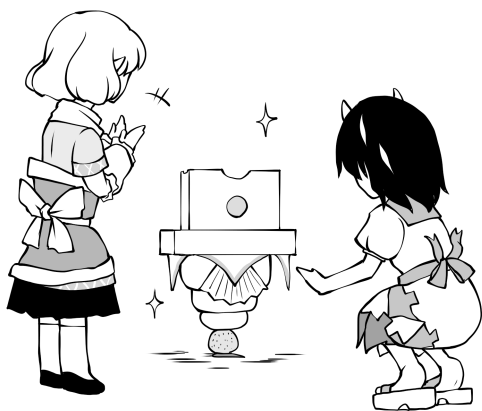
「ほら、がんばれ♪ がんばれ♪」

忘年会の大騒ぎ弾幕勝負。酔いも手
伝い嫉妬を煽って上機嫌で赤勝て
白勝てと応援する橋姫。

一部始終がばっちり天狗のカメラ
に収められ、元旦の一面を飾った。

#今日のパルスィさん





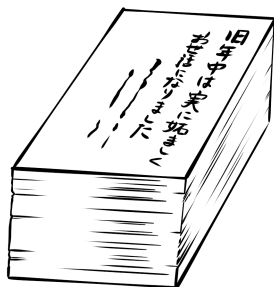
いつのまにか橋の下に居ついた天
邪鬼が律儀に鏡餅を飾っていた。橙
から扇子、三方、四方紅まで見事な
バランスを保ってひっくり返され
た名人芸はまさにプロの技。
来年もめざせ下剋上。実に妬ましい
ハンダグリースピリッツだ。

#今日のパルスイさん

筆まめな橋姫は知り合い全員に必ず年賀状を書く。それぞれの相手に対してその年にあったことを一月から年末まで丁寧に網羅して順番に妬んでいくので、とても好評。旧年中は実に妬ましくお世話になりました。

今年もどうぞ、妬ましい一年でありますように。

#今日のパルスィさん



炬燵に潜って寝正月の予定をヤマメとキスメに連れ出されて、地上の命蓮寺へ。

甘酒をふーふーしながら年越しを迎える。

このまま初日の出まで見るぞと酔っぱらう地底の妖怪たち、妬ましい限りねとつぶやいて笑顔。

#今日のパルスィさん



【奥付】

「よりぬき #今日のパルスィさん」

初版 平成28年6月26日 アンダーグラウンドカーニバル

発行 オルハザカサンバンチ 折葉坂三番地 (<http://oruhazaka.dojin.com/infoblog/>)

あかがねおりは
著者: 銅 折葉

表紙・イラスト: サバ缶 (<http://www.pixiv.net/member.php?id=968206>)

印刷所: (株)ポプルス

※本作は「上海アリス幻楽団」様の
「東方 project」の二次創作です。



著：銅折葉／折葉坂三番地
<http://oruhazaka.dojin.com/infoblog>

表紙・題字・イラスト：サバ缶
<http://www.pixiv.net/member.php?id=968206>